

令和7年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

日 本 史

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから9ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文Aは、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)の日本史探究の「3 内容の取扱い」から一部抜粋したものであり、文Bは、「高等学校学習指導要領解説」(平成30年7月)の地理歴史編の「第4節 日本史探究」の「1 科目の性格と目標」から一部抜粋したものである。後の(1)～(3)の間に答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

A

3 内容の取扱い

- (1) 内容の全体にわたって、次の事項に配慮するものとする。

ア 我が国の歴史と文化について各時代の(Ⅰ)や(a)地理的条件などと関連付け、世界の中の日本という視点から考察できるよう指導を工夫すること。

イ この科目では、(b)中学校までの学習や「歴史総合」の学習との連続性に留意して諸事象を取り上げることにより、生徒が興味・関心をもって我が国の歴史の展開を学習できるよう工夫すること。その際、我が国の歴史を大観して理解し、考察、表現できるようにすることに指導の重点を置き、個別の事象のみの理解にとどまることのないよう留意すること。また、各時代の特色を総合的に考察する学習及び前後の時代を比較してその移り変わりを考察する学習の充実を図ること。

B

1 科目の性格と目標

(1) 科目の性格

「日本史探究」は、地理歴史科の中に設けられた標準単位数3単位の科目である。今回の改訂で設置された(Ⅱ)である「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、(Ⅲ)を探究する科目である。

- (1) 文中の空欄(Ⅰ)～(Ⅲ)に当てはまる語を、次のア～カからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えよ。

ア 現代の日本の課題 イ 国際環境 ウ 社会環境
エ 人間としての在り方生き方 オ 選択科目 カ 必履修科目

- (2) 下線部(a)に関して、地理学習との関連を意識して、日本史探究の授業において江戸時代の産業を扱う際、あなたならどのような学習を取り入れるか。具体的な事例を想定し、簡潔に説明せよ。

- (3) 下線部(b)について、下の図は、「日本史探究」と、中学校までの学習や「歴史総合」の学習との連続性について整理したものである。空欄A～Dに当てはまる語を、次のア～キからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えよ。

段階	歴史学習の特徴
小学校	我が国の歴史の主な事象を人物の働きや代表的なAを中心に学習する。
中学校	我が国の歴史の大きな流れをBの歴史を背景に学ぶ。
高等学校「歴史総合」	現代的な諸課題の形成に関わるCの歴史を学習する。
高等学校「日本史探究」	事象の結び付きや広がり、関係性などを一層重視して扱い、生徒が現代の社会やDとの関わりなどから興味・関心をもちながら学習する。

ア 近現代 イ 日本 ウ 自身 エ 史資料
オ 世界 カ 地域 キ 文化遺産

2 次の文は「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)の日本史探究の「2 内容」から一部抜粋したものである。これに基づいて、「江戸幕府の成立」という単元で授業を行った。後の(1)、(2)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

C 近世の日本と世界

(1) 近世への転換と歴史的環境

諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、(a)中世から近世への時代の転換を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、(b)時代を通観する問いを表現すること。

(1) 下線部(a)について、この時期の上野国における大きな変化として、徳川家康の関東移封があげられる。これについて、以下の問いに答えよ。

① 徳川家康が関東に移される前、関東の大半を支配し、1590年に滅ぼされた戦国大名は何氏か、答えよ。

② 1600年、豊臣政権を存続させようとする五奉行の一人と徳川家康との対立から、関ヶ原の戦いが勃発するが、この五奉行の一人とは誰か、名前を答えよ。

(2) 下線部(b)について、生徒が授業の中で下の資料Aのように「時代を通観する問い」を設定した。それを受け、あなたは、近世の特色を示す歴史資料として資料Bを提示した。これについて、以下の問いに答えよ。

① 資料Bが発布された時の将軍の名前を答えよ。

② 資料Bから読み取れる内容を踏まえて、どのような仮説が立てられるか。資料Aの空欄に当てはまる文を答えよ。

資料A

時代を通観する問い

仮説

資料B

一、文武弓馬の道、専ら相嗜むべき事。

一、大名小名、在江戸交替相定むる所なり。毎歳夏四月中参勤致すべし。……

一、新儀の城郭構営は堅くこれを禁止す。……

「御触書寛保集成」

- 3 次の資料A～Dについて、後の(1)～(4)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A 二十一年の夏六月の壬辰の朔甲午に、近江毛野臣、衆六万を率て、任那に往きて、に破られし南加羅・喙己吞を為復し興建て、任那に合せむとす。是に、(a)筑紫国造磐井、陰に叛逆くことを謀りて、猶預して年を経。……

「日本書紀」

資料B (天武天皇元年) 六月丙戌、……是の時に、近江朝、(b)大皇弟東国に入りたまふことを聞きて、其の群臣悉に愕ちて、京の内震動ぐ。或いは遁れて東国に入らむとす。……

「日本書紀」

資料C (天平十三年三月) 乙巳、詔して曰く、「(c)朕、薄徳を以て忝くも重き任を承けたまわる。政化弘まらず、寤寐に多く慚づ。……頃者、年穀豊かならず、疫癘頻に至る。慙懼交集りて、唯勞きて己を罪えり。是を以て、広く蒼生の為に遍く景福を求めむ。

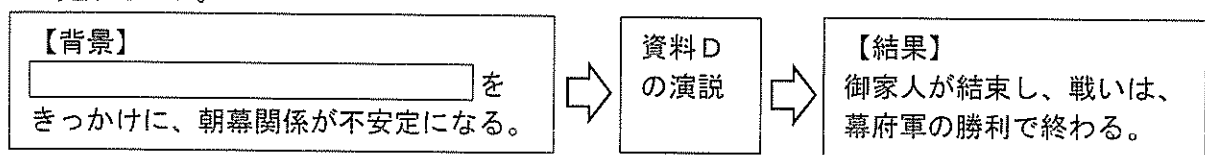
……天下の諸国をして、各七重塔一区を敬ひ造らしめ、并せて金光明最勝王経・妙法蓮華経、一部を写さしむべし。朕又別に擬りて金字の金光明最勝王経を写し、塔毎に各一部を置かしめむ。……

「続日本紀」

資料D (承久三年五月) 十九日、壬寅……(d)二品、家人等を簾下に招き、秋田城介景盛を以て示し含ませて曰く、「皆心一にして奉るべし。是最後の詞なり。故右大將軍、朝敵を征罰し、関東を草創してより以降、官位と云ひ俸禄と云ひ、其の恩、既に山岳よりも高く、溟渤よりも深し。報謝の志浅からむや。而るに、今逆臣の讒に依りて、非義の綸旨を下さる。名を惜しむの族は、早く秀康・胤義等を討ち取り、三代將軍の遺跡を全ふすべし。但し、院中に参らむと欲する者は、只今申し切るべし」者。群参の士悉く命に応じ、且は涙に溺れて返報を申すこと委しからず。只命を軽んじて恩に酬いむことを思ふ。

「吾妻鏡」

- (1) 資料Aについて、以下の問いに答えよ。
- ① に当てはまる、筑紫国造磐井と結んでいたとされる国の名称を答えよ。
 - ② 下線部(a)の墓とされる、九州最大級の前方後円墳を何というか、答えよ。
 - ③ 乱を鎮圧したヤマト政権が、九州北部に設置した直轄地を何というか、答えよ。
- (2) 資料Bについて、以下の問いに答えよ。
- ① 下線部(b)の人物と争った、天智天皇の子の名前を答えよ。
 - ② 下線部(b)が即位した宮を何というか、名称を答えよ。
- (3) 資料Cについて、この資料から読み取ることができる当時の仏教の性格について、下線部(c)の人物とこの詔の名称を明らかにしながら、簡潔に説明せよ。
- (4) 資料Dについて、以下の問いに答えよ。
- ① 下線部(d)は誰のことか、名前を答えよ。
 - ② 資料Dの演説前後のできごとについて、以下の図のように整理した。空欄を埋めて文を完成させよ。



4 次の資料A～Eについて、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A ((1) 天皇十二年) 夏四月丙寅の朔戊辰に、皇太子親筆めて憲法十七条を作りたまふ。

一に曰く、和を以て貴しとし、忤ふること無きを、宗とせよ。……

二に曰く、篤く三宝を敬へ。三宝とは仏・法・僧なり。……

三に曰く、詔を承りては必ず謹め。……

「日本書紀」

資料B 凡そ兵士の上番せむは、京に向はむは一年、防に向はむは三年、行程を計へず。……

凡そ兵士の京に向ふをば、衛士と名づく。……辺守るをば防人と名づく。

「令義解」

資料C (養老七年四月) 辛亥、太政官奏すらく、「頃者、百姓漸く多くして、田池窄狭なり。望み請ふらくは、天下に勸め課せて、田疇を開闢かしめむ。其れ新たに溝池を造り、開墾を営む者有らば、多少を限らず、給ひて、三世に伝へしめむ。若し旧の溝池に逐はば、其の一身に給はむ」と。奏するに可としたまふ。

「続日本紀」

資料D (延久元年二月) 廿三日、寛徳二年以後の新立庄園を停止すべし。縦ひ彼の年以往と雖も、立券分明ならず、国務に妨げ有らば、同じく停止の由宣下す。閏二月十一日、始めて (2) を置き、寄人等を定む……。

「百練抄」

資料E 一 寺社本所領の事 観応三・七・廿四御沙汰

(a) 諸国擾乱に依り、寺社の荒廢、本所の牢籠、近年倍増す。……次に近江・美濃・尾張三ヶ国、本所領半分の事、兵糧料所として、当年一作、軍勢に預け置くべきの由、守護人等に相触れおわんぬ。半分に於ては、宜しく本所に分渡すべし。若し預人、事を左右に寄せ、去渡さざれば、一円本所に返付すべし。

「建武以来追加」

(1) 資料Aについて、以下の問いに答えよ。

① 資料Aの空欄 (1) に当てはまる、この時期に在位していた天皇名を答えよ。

② 憲法十七条はどのような目的で制定されたのか、「豪族」「仏教」という語を用いて簡潔に説明せよ。

(2) 資料Bについて、どのような人が防人になったのか。主な出身地・年令・性別に触れながら、簡潔に説明せよ。

(3) 資料Cについて、この法令の内容を簡潔に説明せよ。

(4) 資料Dについて、以下の問いに答えよ。

① 資料Dの法令が発せられた時の天皇名を答えよ。

② 資料Dの空欄 (2) に当てはまる語を答えよ。

(5) 資料Eについて、以下の問いに答えよ。

① 下線部(a)の争乱を何というか、答えよ。

② 資料Eを提示することで、生徒にどのようなことを理解させたいか、この資料の内容に触れながら、簡潔に説明せよ。

- 5 次の資料A～Eについて、後の(1)～(3)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A 上天眷命、大蒙古国の皇帝、書を日本国王に奉る。朕惟ふに古より小国の君境土相接するは、尚ほ講信修睦に務む。況んや我が祖宗、天の明命を受け、区夏を奄有す。遐方異域、威を畏れ徳を懐しむ者、数を悉すべからず。……(a)高麗は朕の東藩なり。日本は高麗に密邇し、開国以来、亦た時に中国に通ず。朕の躬に至って、一乗の使も以て和好を通ずること無し。尚ほ恐る、王の国これを知ること未だ審ならざらん。故に特に使を遣はし、書を持して朕の志を布告せしむ。冀は今より以往、通問結好し、以て相親睦せん。且つ聖人は四海を以て家と為す。相通好せざるは、豈に一家の理ならん哉。兵を用ふるに至るは、夫れ孰か好む所ならん。王其れ之を図れ。不宣

至元三年八月 日

「蒙古国牒状」

資料B 蒙古人対馬・老岐に襲来し、合戦を致すの間、軍兵を差し遣はさるる所なり。且は九国の住人等、其の身縦へ御家人ならずと雖も、軍功を致すの輩有らば、賞を抽ぜらるべきの由、普く告げ知らせしむべきの状、仰に依って執達件の如し。

文永十一年十一月一日 武蔵守 (判)

相模守 (判)

大友兵庫頭入道殿

「大友文書」

資料C 関東御事書の法

資料E

一、質券売買地の事 永仁五年三月六日

右、地頭・御家人の買得地に於ては、本条を守り、廿箇年を過ぎば、本主取返すに及ばず。非御家人並びに(b)凡下の輩の買得地に至りては、年紀の遠近を謂はず、本主之を取返すべし。

「東寺百合文書」

資料D 関東より六波羅へ送られし御事書の法

一、(c)越訴を停止すべき事……

「山王靈験記絵巻」

「東寺百合文書」

- (1) 資料Aについて、以下の問いに答えよ。
- ① 下線部(a)について、モンゴル軍に服属後も抵抗を続けた高麗の部隊を何というか、答えよ。
 - ② 資料Aの国書を拒絶した執権は誰か、名前を答えよ。
 - ③ 資料Aの要求後、文永の役があった。その後、幕府は再度の襲来に備えて、御家人による九州北部の要地警備を強化した。この負担を何というか、答えよ。
- (2) 資料Bについて、幕府の権限拡大という観点からこの資料を授業で扱う際、生徒に読み取らせたいことは何か、簡潔に説明せよ。
- (3) 資料C及び資料Dについて、以下の問いに答えよ。
- ① 資料C及び資料Dで示されている法令は何と呼ばれるか、答えよ。
 - ② 資料C及び資料Dが出された時の執権は誰か、名前を答えよ。
 - ③ 下線部(b)について、具体的には資料Eで示されるような高利貸業者を指すが、これを何というか。
 - ④ 下線部(c)とは何か、簡潔に答えよ。
 - ⑤ 資料Cを發布した背景と鎌倉幕府のねらいについて、簡潔に説明せよ。

- 6 次の資料A～Eについて、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A 定 安土山下町中

- 一 当所中 (1) として仰せ付けらるるの上は、諸座・諸役・諸公事等、悉く免許の事。
「八幡町共有文書」

資料B 朱学の儀は、慶長以来御代々御信用の御事にて、已に(a)其方家代々右学風維持の事仰せ付け置かれ候得ば、油断無く正学相励み、門人共取立申すべき筈に候。然る処、近來世上種々新規の説をなし、(b)異学流行し、風俗を破り候類これ有り、全く正学衰微の故に候哉、甚だ相濟まざる事にて候。……

「徳川禁令考」

資料C 当時太平の御世には御座候へ共、人の身にたとへ候得ば甚不養生にて、種々さまざまの病症きざし居候間……右の病症委細は筆紙に尽し兼候得共、大筋は内憂と外患との二つに御座候、内憂は海内の憂にて、(c)外患は海外の患に御座候……内憂起り候て外患を来し候事もこれ有り、外患来り候て内憂を引出し候事もこれ有り……近年(d)参州・甲州の百姓一揆徒党を結び又は大坂の奸賊容易ならざる企仕、猶当年も佐渡の一揆御座候は、畢竟下々にて上を怨み候と上を恐れざるより起り申候、……

「水戸藩史料」

資料D 第四条 (2) 又ハ行在所ヲ距タル三里以内ノ地ニ住居又ハ寄宿スル者ニシテ、内乱ヲ陰謀シ又ハ教唆シ又ハ治安ヲ妨害スルノ虞アリト認ムルトキハ、警視總監又ハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ経、期日又ハ時間ヲ限り退去ヲ命シ、三年以内同一ノ距離内ニ出入寄宿又ハ住居ヲ禁スルコトヲ得。

「法令全書」

資料E 第一条 締約国ハ、国際紛争解決ノ為戦争ニ訴フルコトヲ非トシ、且其ノ相互関係ニ於テ国家ノ政策ノ手段トシテノ戦争ヲ抛棄スルコトヲ其ノ各自ノ人民ノ名ニ於テ厳肅ニ宣言ス。

「日本外交年表並主要文書」

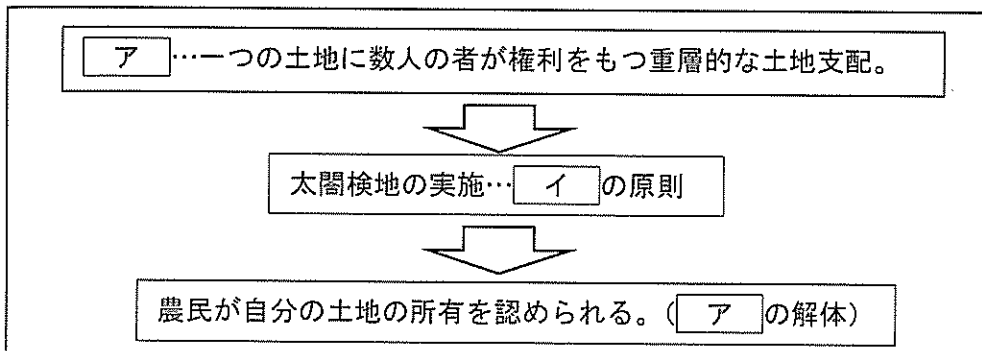
- (1) 資料Aの空欄 (1) に当てはまる語を答えよ。
- (2) 資料Bについて、以下の問いに答えよ。
- ① 下線部(a)について、5代将軍徳川綱吉によってはじめて大学頭に任命された人物の名前を答えよ。
 - ② 下線部(b)は何を指すか具体例を明記しながら、簡潔に答えよ。
 - ③ 資料Bの法令が出されたあと、幕臣を対象に朱子学による学術試験が実施された。この試験を何というか答えよ。
- (3) 資料Cは、水戸藩主が1838年に12代将軍徳川家慶に提出した意見書である。これについて、以下の問いに答えよ。
- ① この水戸藩主の名前を答えよ。
 - ② 下線部(c)について、この意見書が出される前年におきた外患に該当する出来事を答えよ。
 - ③ 下線部(d)について、それぞれ具体的に何を指すか、答えよ。
- (4) 資料Dについて、以下の問いに答えよ。
- ① 資料Dの空欄 (2) に当てはまる語を答えよ。
 - ② 資料Dの法令が出された当時の政治的な状況について、「国会」という語を用いて説明せよ。
- (5) 資料Eは条約の一部である。これについて、以下の問いに答えよ。
- ① この条約を批准した時の内閣総理大臣を答えよ。
 - ② 資料Eを生徒に提示する際、どの部分に着目させたいか。着目させたい部分とその理由を、当時の憲法を踏まえて簡潔に答えよ。

7 次の文A～Eについて、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- A 豊臣秀吉は、全国的な土地調査を実施し、土地の面積表示を統一するとともに、(a)柵の容量も統一した。また、村ごとに田畑・屋敷地の面積を調査して、その石高を定めた。このような(b)太閤検地によって、全国の生産力が米の量で換算される石高制が確立した。
- B 幕藩体制下において、本百姓の負担は、田畑や屋敷地にかかる本年貢である(1)が中心であった。そのほか、村高に応じて課された(2)といわれる付加税、山野河海の利用や農業以外の副業などに対してかかる(3)、労役を提供する夫役などがあった。
- C 幕藩体制に動揺が見られるようになると、幕藩体制を立て直そうとする思想が出てくるが、一方で(c)18世紀半ばになると、封建社会を根本から批判し、改めようとする思想が現れるようになった。また、18世紀半ばには、(d)尊王論を説いて幕政を批判する者も現れた。
- D (4)内閣は、憲政党の支持を得て地租増徴案を成立させた。1899年には、(e)文官任用令を改正したほか、1900年には軍部大臣現役武官制を定め、さらに同年、労働運動や社会運動を取り締まるため(5)を公布した。
- E GHQは1948年12月、第2次吉田茂内閣に対して総予算の均衡、徴税の強化、賃金の安定、物価の統制などの内容を含む(6)の実施を指令した。翌年、(f)銀行家のドッジが特別公使として来日し、一連の施策を指示した。

(1) Aについて、以下の問いに答えよ。

- ① 下線部(a)について、この柵を何というか答えよ。
- ② 下線部(b)による土地支配の権利関係の変化について、授業で下の図を用いて説明したい。図中の空欄「ア」と「イ」にどのような語を入れるか、答えよ。



(2) Bについて、空欄(1)～(3)に当てはまる語を答えよ。

(3) Cについて、以下の問いに答えよ。

- ① 下線部(c)について、あなたが生徒に説明する際、どのような資料を用いて、どのように説明するか、答えよ。
- ② 下線部(d)について、江戸で尊王論を説き、幕政を批判したため、死刑に処せられた兵学者の名前を答えよ。

(4) Dについて、以下の問いに答えよ。

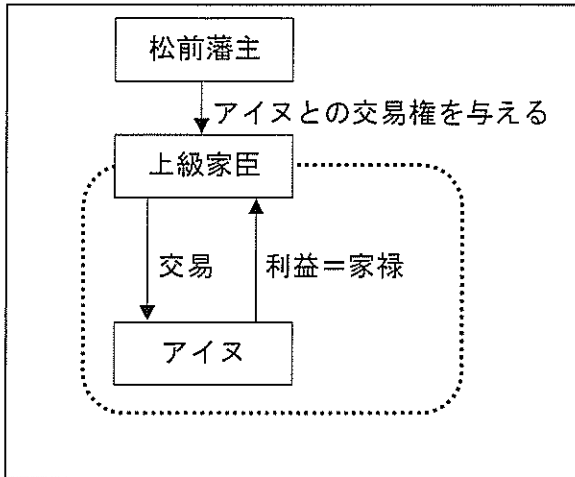
- ① 空欄(4)に当てはまる内閣総理大臣の名前を答えよ。
- ② 下線部(e)について、どのような改正が行われたか、簡潔に説明せよ。
- ③ 空欄(5)に当てはまる語を答えよ。

(5) Eについて、以下の問いに答えよ。

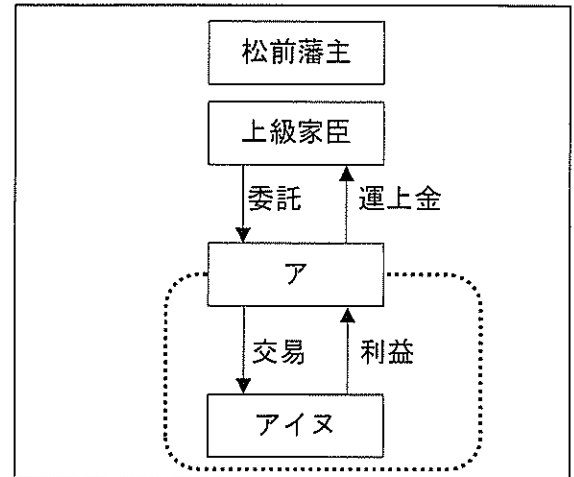
- ① 空欄(6)に当てはまる語を答えよ。
- ② 下線部(f)の結果、収束した経済的現象は何か、答えよ。

8 次の資料A～Eについて、後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

資料A



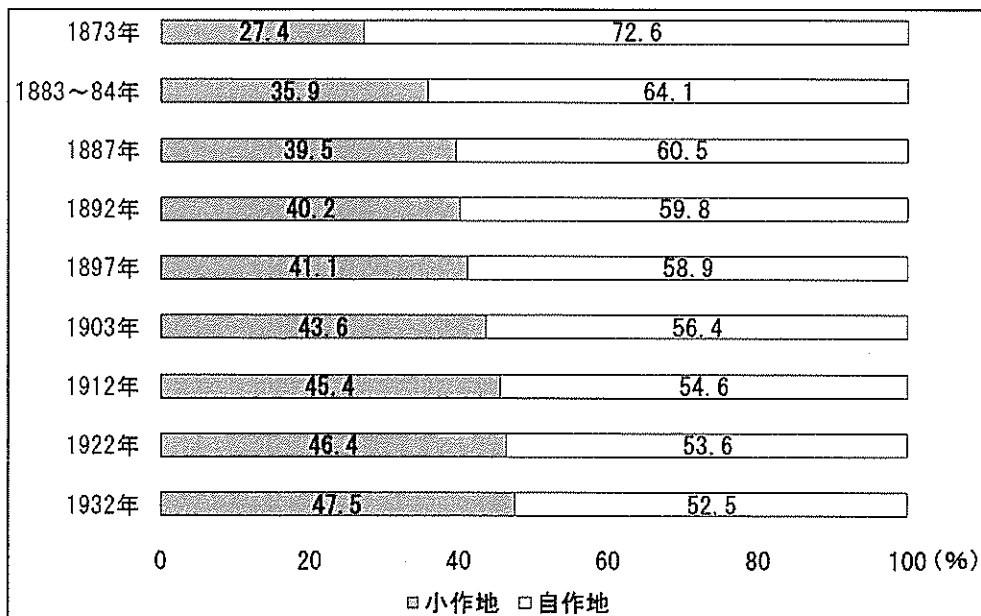
資料B



資料C

資料D 「金蓉」

資料E 小作地率の変化



「近現代日本経済史要覧」より作成

- (1) 江戸時代のアイヌと松前藩の関係について、資料Aと資料Bのスライドを用いて説明したい。次の問いに答えよ。
- ① 資料Aが表している制度を答えよ。
 - ② 18世紀前半頃までに資料Aの制度から資料Bの制度へ転換していった。空欄「ア」に当てはまる語を答えよ。
- (2) 資料Cについて、以下の問いに答えよ。
- ① 空欄「イ」にはこの機械の発明者の名が入る。この人物名を答えよ。
 - ② この機械が最高賞を受賞した博覧会を答えよ。
- (3) 資料Dの作者を答えよ。
- (4) 資料Eについて、以下の問いに答えよ。
- ① 資料Eから読み取れる、1880年代以前とそれ以後における小作地率の変化について、その背景に触れながら簡潔に説明せよ。
 - ② 資料Eに見られる土地所有の変化にともなって、成立した土地制度を答えよ。

日本史 解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
----------	-------	------	--	----	--

(7年)

1

(1)	I		II		III	
(2)						
(3)	A		B		C	

2

(1)	①		②	
(2)	①			
	②			

3

(1)	①		②		③	
(2)	①		②			
(3)						
(4)	①		②			

4

(1)	①				
	②				
(2)					
(3)					
(4)	①		②		
(5)	①				
	②				

5

(1)	①		②		③	
(2)						
(3)	①		②		③	
	④					
	⑤					

日本史 解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名
----------	-------	------	----

(7年)

6

(1)		
(2)	①	②
	③	
(3)	①	②
	③	
(4)	①	
	②	
(5)	①	
	②	

7

(1)	①	②	ア	イ
(2)	1	2	3	
(3)	①			
	②			
(4)	①			
	②			
	③			
(5)	①	②		

8

(1)	①	②
(2)	①	②
(3)		
(4)	①	
	②	

以下はあくまでも解答の一例です。

日本史 解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名		(7年)
----------	-------	------	--	----	--	------

1 (20点)

(1)	I	イ (2点)	II	カ (2点)	III	ア (2点)
-----	---	--------	----	--------	-----	--------

(2) 【解答例】江戸時代の漁業において、地図帳やGISなどを活用し、中国向けの輸出品として用いられた俵物や昆布の産地及び輸送ルートを確認する。(6点)

(3)	A	キ (2点)	B	オ (2点)	C	ア (2点)	D	ウ (2点)
-----	---	--------	---	--------	---	--------	---	--------

2 (12点)

(1)	①	北条氏 (2点)	②	石田三成 (2点)
-----	---	----------	---	-----------

(2) ① 徳川家光 (2点)
 ② 【解答例】江戸幕府の巧みな大名統制により、諸大名の勢力を抑えることができたからではないか。(6点)

3 (22点)

(1)	①	新羅 (2点)	②	岩戸山古墳 (2点)	③	屯倉 (3点)
-----	---	---------	---	------------	---	---------

(2) ① 大友皇子 (2点) ② 飛鳥浄御原宮 (2点)

(3) 【解答例】奈良時代の仏教は、鎮護国家思想のもと国家の安定を図るという性格を有しており、聖武天皇により国分寺建立の詔が出された。(6点)

(4) ① 北条政子 (2点) ② 将軍源実朝が暗殺されたこと (3点)
 (別解) 皇族将軍東下の申し入れが拒否されたこと

4 (32点)

(1)	①	推古 (2点)
-----	---	---------

② 【解答例】豪族に国家の官僚として自覚させ、仏教を新しい政治理念として重んじ、天皇を中心とする中央集権体制を確立させるため。(6点)

(2) 【解答例】21~60歳の男性から徴発され、主に東国の兵士が当てられた。(6点)

(3) 【解答例】新たに灌漑施設を設けて未開地を開墾した場合は三世にわたり、旧来の灌漑施設を利用して開墾した場合は本人一代のあいだ、田地の保有を認められた。(6点)

(4)	①	後三条天皇 (2点)	②	記録庄(荘)園券契所 (2点)
-----	---	------------	---	-----------------

(5) ① 親応の擾乱 (2点)
 ② 【解答例】近江・美濃・尾張の3カ国の守護に対し、荘園・公領の年貢の半分を軍費として1年に限り徴収することを認めた。この資料から、守護の権限が拡大していったことを理解させたい。(6点)

5 (24点)

(1)	①	三別抄 (2点)	②	北条時宗 (2点)	③	異国警固番役 (2点)
-----	---	----------	---	-----------	---	-------------

(2) 【解答例】元寇を機に、幕府が非御家人まで動員するようになったこと。(4点)

(3)	①	永仁の徳政令 (2点)	②	北条貞時 (2点)	③	借上 (2点)
-----	---	-------------	---	-----------	---	---------

④ 再審請求 (2点)
 ⑤ 【解答例】蒙古襲来による負担、分割相続による所領の細分化、貨幣経済の浸透などから、窮乏する御家人を救済するために発布した。(6点)

日本史 解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名		(7年)
----------	-------	------	--	----	--	------

6
(36点)

(1)	楽市 (2点)	
(2)	① 林信篤 (鳳岡) (2点)	② 【解答例】古学派、折衷学派などの朱子学以外の儒学。(4点)
	③ 学問吟味 (2点)	
(3)	① 徳川斉昭 (2点)	② モリソン号事件 (2点)
	③ 三河の加茂一揆と甲斐の郡内騒動 (4点)	
(4)	① 皇居 (2点)	
	② 【解答例】国会開設が近づくと、民権派が大同団結をとなえて再結集し、井上馨外相の条約改正交渉の内容が明るみに出ると三大事件建白運動がおこった。(8点)	
(5)	① 田中義一 (2点)	
	② 【解答例】条約中の「人民ノ名ニ於テ」という部分に着目させたい。この部分が天皇主権の憲法と相容れず、批准の際に問題とされたため。(6点)	

7
(36点)

(1)	① 京桥 (2点)	② ア	荘園制 (2点)	イ	一地一作人 (2点)
(2)	1 本途物成 (2点)	2 高掛物 (2点)	3 小物成 (2点)		
(3)	① 【解答例】奥州八戸の医師である安藤昌益の『自然真営道』を資料として用いる。安藤昌益が、万人がみずから耕作をして生活する「自然ノ世」を理想とし、武士が農民を支配する社会や身分社会を批判したことを説明する。(8点)				
	② 山県大武 (2点)				
(4)	① 山県有朋 (2点)				
	② 【解答例】各省次官など的高级官吏にも資格規定を設け、専門官僚としての知識・経験がない者が政党などの力で高級官吏になれないようにした。(6点)				
	③ 治安警察法 (2点)				
(5)	① 経済安定九原則 (2点)	② インフレーション (2点)			

8
(18点)

(1)	① 商場知行制 (2点)	② 和人商人 (2点)
(2)	① 臥雲展致 (2点)	② 第1回内国勸業博覧会 (2点)
(3)	安井曾太郎 (2点)	
(4)	① 【解答例】1880年代の松方財政におけるデフレ政策によって小作地率は上昇し、その後1890年代にも上昇し続けた。(6点)	
	② 寄生地主制 (2点)	